

まちがと

七草ぜんぶ言えるかな？

七草ごはん給食 < 1 / 6 >

町内保育園の給食に七草ごはんが登場しました。町内の伊藤農園から全保育園の給食分が無償で提供され、園児らはいつもと少し違った給食に興味津々。先生から七草についての説明を聞いたあと、元気よく「いただきまーす！」の声。日本の伝統的な行事食について楽しく学べる機会となりました。



▲とってもおいしかったよ♪(深溝)



▲昔ながらの放水も披露

無災害を祈念して！

消防出初め式 < 1 / 7 >

消防本部、消防団、女性消防クラブ、自主防災会、(株)デンソーの幸田・西尾両事業所など、総勢 400 人が集い、防災広場で消防出初め式が行われました。式典では、一斉放水や、分列行進が行われ、愛知県の防災ヘリコプターが飛来し上空からお祝いのメッセージの広報が行われました。また、消防団員や消防活動に功績のあった皆さんへ表彰状の授与が行われました。

天高く希望を乗せて舞い揚げられ！ 第 15 回こうた凧揚げまつり < 1 / 8 >

新春恒例行事のこうた凧揚げまつりが菱池地内で開催されました。今年は、風、足場の状況ともに絶好の凧揚げ日和で、15 畳の大凧から小凧まで町内外から 154 基の凧が舞い揚げられ、会場は大いににぎわいました。結果は次のとおりです。(敬称略)

県知事賞【大凧の部】須美区 町長賞【大凧の部】永野区【中凧の部】神谷章一
【小凧の部】谷川太平【全国凧の会の部】細江凧の会 堀口和男



▲息の合った掛け声で大凧を操る須美区



▲永野区の凧



▲大村愛知県知事も来場しました(中央)

大人の仲間入り！

第 64 回幸田町成人式 < 1 / 9 >

64 回目になる幸田町成人式が町民会館さくらホールで行われました。きらびやかな振り袖やスーツに身を包んだ新成人たちが旧友や恩師との再会を喜び、会話を弾ませていました。当日の進行は成人代表の運営スタッフによって行われ、式典からアトラクションまでスムーズに行われ、盛況のうちに終わることができました。*今年の新成人:354人(参加者:323人)



▲頼もしい誓いの言葉でした！



▲笑顔もとってもきらびやか♪

身近な情報を広報へ

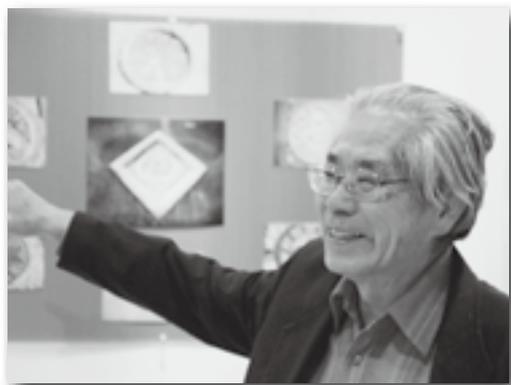
被災地への想いを込めて

幸田文化協会から義援金<1/9>

幸田文化協会は、新年事始め会において、東日本大震災義援金の募集を行い、この日集められた53,617円を幸田町社会福祉協議会に寄付しました。

この義援金は、日本赤十字社愛知県支部を通じて被災地に送られます。

義援金を幸田町社会福祉協議会会長に▶
渡す、文化協会会長の高須悟さん(右)



▲来場者に写真の説明をする成田さん

中国の魅力を写真で紹介!

図書館ギャラリー「中国的模様」<1/8~13>

幸田町荻区在住の成田重忠さんなりた しげただによる写真展が1月8日から13日まで町立図書館ギャラリーで開催されました。高校の英語教師だった成田さんは退職後に日本語講師として中国へ3年間滞在し、この間、中国全土を巡りながら撮影した写真を展示。成田さんは「写真を通して中国の長い歴史や民族の文化・魅力を伝えられたら」と話されました。

おしえて! 税金のしくみ

租税教室<1/13>

小学校の児童たちが税金について学ぶ租税教室が荻谷小学校で開催されました。今回は6年生を対象に役場の税務課職員が身近な消費税に関する話、税金が自分たちの暮らしの中のどんなところに使われているのかなどを話しました。児童たちはその話に熱心に聞き入り、税金への関心の高さがうかがえる授業となりました。



▲租税教室の様子



▲磯村常務理事(右から2番目)と調印書を交わす大須賀町長

いざというときのために!

コープあいちと防災協定<1/13>

幸田町と生活協同組合コープあいちが災害支援に関する協定を結びました。協定では地震や風水害が発生した際に、町の要請に基づいてコープあいちが食料や飲料水を提供。これから日常的な防災訓練などでもさらに連携を深めていきたいというありがたい言葉をいただきました。

まちがとフォトニュース

広報直通ダイヤル(63)5132
FAX(63)5139
E-mail:kikakujo@town.kota.lg.jp

まちがと

大規模災害に備えて！ < 1 / 15 >

幸田・中央・荻谷・豊坂学区防災リーダー実践訓練

災害時に防災拠点となる小学校体育館において防災リーダー実践訓練が実施されました。訓練では、災害発生時の負傷者応急搬送訓練やAEDの使い方を学びました。また、避難所で実際に使用されるダンボールの間仕切り設置訓練や備蓄倉庫の資器材の確認を行い、非常食の試食を行いました。

日ごろの訓練や地域での助け合いによる連携が、減災につながります。



▲救護方法について学ぶ（中央小）

寒さ吹き飛ばす力走！ 第34回新春駅伝・ファミリージョギング大会< 1 / 22 >

第34回新春駅伝・ファミリージョギング大会が、幸田中央公園を発着点に行われました。今回はジョギングの部（1.87 *_♁）656人、駅伝の部（10.45 *_♁）191チーム（1チーム6人）1,146人の申込みがあり、それぞれが完走、優勝を目指しました。駅伝の部、各部門の結果は次のとおりです。（優勝チームのみ）【区対抗の部】野場区 【一般の部】幸田高校セレクト 【中学生男子の部】幸中駅伝部A 【中学生女子の部】北部中テニス部A 【小学生男子の部】深溝漢アルファ3世 【小学生女子の部】荻6最強ガールズ6 【総合優勝】幸中駅伝部A



▲総合優勝の幸中駅伝部A



▲ファミジョギ完走証明書☆やったね♪



▲みんなそろってハイ、チーズ♪

まごころ込もったプレゼント！

シルバー人材センターへ手作りベンチ寄贈< 1 / 31 >

中央小学校の5年生が総合学習の一環で作成したベンチ4脚を幸田町シルバー人材センターへ寄贈しました。このベンチは岡崎市額田地区で間伐した杉や町内の小野隆^{たかし}さんから譲り受けた杉で作成。まごころの込もったベンチを受け取った同センターの能勢博史^{のせひろし}会長は「大切に使用させていただきます」と笑顔で答えました。

カンボジアのお友達へ届けてね！ 幸田ライオンズクラブへ楽器などを寄託< 2 / 2 >

坂崎小学校と豊坂小学校が「カンボジア・トランキット小学校の児童へ」と集めた楽器や文房具などを幸田ライオンズクラブに寄託しました。坂崎小学校からはハーモニカやリコーダー、文房具などが託され、豊坂小学校からは児童らが作成した版画12点が託されました。同クラブの山本富夫^{やまもととみお}会長は「ありがとうございます。皆さんの思いは現地の子どもたちにしつかり伝えます」と感謝の言葉を述べました。



▲坂崎小学校



▲豊坂小学校

身近な情報を広報へ

フォト特集

わしだ保育園

豆まき会

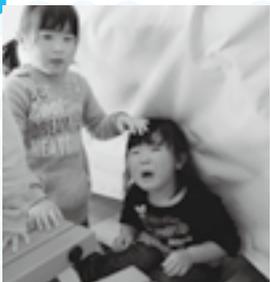
<2/3>



紙を丸めて作った大きな手作りの豆。今日は玉入れゲームで楽しく節分の豆まき♪「エイエイオー！」すると…ドンドンドン！太鼓の音。保育園に鬼がやってきました。「せんせーい！キャー！」みんなびくりにして逃げたり、隠れたり。先生に必死にしがみつきます。



でもしばらくすると、逃げてばかりじゃられない！そう決心したかのように1人、また1人と鬼に立ち向かっていきます。「鬼は一外！」と大きな声。みんなで力を合わせて鬼を退治することができました。鬼が逃げた後、泣いている子を一生懸命落ち着かせます。「もう大丈夫だよ」



すると、勇気を出してがんばった園児たちのもとへ福の神がやってきました。「わぁ～キレイ☆」園児たちに再び笑顔が戻ります。福の神は、鬼を退治してくれたお礼にと、園児たちにプレゼントをくれました。

「あー鬼こわかったよう」保育室への帰り道は少し甘い坊。でもまた一つ大きくなった園児たちなのでした。



フォトニュース

広報直通ダイヤル(63)5132
FAX(63)5139
E-mail:kikakujoho@town.kota.lg.jp